

## 解答

一

問一 ア × イ ○ ウ × エ ○ オ ×

問二 大正噴火の数日前から予兆があり、多くの住民は桜島を脱出した。東桜島村の村長たちも不安を感じ、測候所に何度も電話をしたが、「噴火しない」と言われ、科学を信頼していた村長たちは逃げ遅れて、犠牲者が出た。

問三 オ

問四 行政や専門家はできる限り科学的な対応を重ね、不確実であっても警告を出して市民の命を守る道を選び、予報が外れても市民はそれを責めないようにするべきだ。

問五 ウ

問六 行政や専門家による災害の予報が外れ続けて、市民から信用されなくなること。

問七

① 拡大 ② 利器 ③ 階級 ④ 支持 ⑤ 遺族

二

問一 A ア B オ C イ D エ

問二 「私」が幼稚園にはほとんど行かず、好きなことだけをしていたという前歴。

問三 ウ

問四 イ

問五 複雑な事情を抱えひどい劣等生だった小学生の時に、高木先生の特別な思いやりで絵を描く楽しさを教えられ、すくい上げてもらったことが、作家として生活している現在につながっていると考え、感謝している。

三

① 版図

② 穀倉

③ 混迷

④

祝祭

⑤ 順延

⑥ 歌劇

⑦ 衆人

⑧ 郵便

⑨

舌先

⑩ 枝葉

⑪ 潮流

⑫ 暮改

⑬ 快刀

⑭

発揮

⑮ 気宇